

2011年3月期 第1四半期決算 電話説明会 説明概要

「2011年3月期 第1四半期決算 補足資料」をもとに説明致しましたので併せてご覧ください。
お手元がない場合は、お手数ですが当社 IR サイトよりダウンロードをお願いいたします。
<http://www.olc.co.jp/ir>

- ・実施日 2010年8月4日（水）
- ・説明者 取締役執行役員 横田 明宜

【連結業績】

2011年3月期 第1四半期決算の連結損益計算書を簡単に確認させていただきます。お手元の補足資料の1ページ左側の表をご覧ください。

当四半期は、前年同期と比較して、

- ・売上高は、80億円増の851億円、
- ・営業利益は、118億円増の130億円、
- ・経常利益は、120億円増の129億円、
- ・四半期純利益は、57億円増の62億円

と、いずれも過去最高となり、増収増益となりました。

【セグメント別売上高】

セグメント別の売上高とその増減要因について説明いたします。

①テーマパーク事業

売上高は、前年同期比110億円増の698億円となりました。

入園者数及びゲスト1人当たり売上高の前年同期差異については、補足資料右ページの表「(2)テーマパーク関連情報」をご覧ください。

入園者数は、前年同期を大幅に上回りました。第1四半期の入園者数増加の主な要因といたしましては、第1四半期では初となる歳時記イベント「ディズニー・イースターワンダーランド」の奏功に加え、天候に恵まれたことや前年同期は、新型インフルエンザの影響があったことなどが挙げられます。なお、地域別実績では首都圏・地方・海外ともに増加いたしました。

ゲスト1人当たり売上高は、前年同期を上回りました。その内訳を説明いたしますと、チケット収入は、前年同期とほぼ同様となりました。商品販売収入は、ダッフィー関連商品が引き続き好調であったことなどから、前年同期を上回りました。飲食販売収入は、ワゴン販売が好調であったことなどから、前年同期を上回りました。

②ホテル事業

「(1) 売上高の状況」の中段をご覧ください。全てのホテルにおいて前年同期を上回り、売上高は前年同期比7億円増の102億円となりました。

各ホテルの客室稼働率の前年同期差異については、右側の「(3) ホテル客室稼働率」をご覧ください。テーマパーク入園者数が増加したことに加え、前年同期は新型インフルエンザの影響があったことなどから、それぞれ前年同期を上回りました。

③その他の事業

「(1) 売上高の状況」の下段をご覧ください。シアトリカル事業が前年同期を下回ったことなどから、売上高は前年同期比3億円減の50億円となりました。

【セグメント別営業利益】

セグメント別の営業利益とその増減要因について説明いたします。1 ページ右側の中段をご覧ください。

④テーマパーク事業

売上高が増加したことに加え、商品原価率が減少したこと、25周年関連除却費など固定経費が14億円減少したこと、減価償却費が14億円減少したことなどから、営業利益は前年同期比112億円増の120億円となりました。

⑤ホテル事業

各ホテルの客室稼働率が増加したことなどから、営業利益は前年同期比6億円増の13億円となりました。

⑥その他の事業

シアトリカル事業が減益となったことなどから、営業損失は前年同期比1億円増の4億円となりました。

セグメント別営業利益の説明は、以上となります。

【四半期純利益】

四半期純利益の増減要因について説明いたします。

特別損失は、投資有価証券評価損15億円、資産除去債務会計基準適用に伴う影響額1億円の合計17億円を計上いたしました。

【総括】

総括をさせていただきます。右下の「総括」をご覧ください。

当四半期実績を前年同期と比較いたしますと、過去最高の売上高・営業利益・経常利益・四半期純利益となるなど利益水準がベースアップいたしました。

- ・ 当四半期は、両パークでのイベントが奏功したことや天候に恵まれたことに加え、東京ディズニーシーのファン層の拡大傾向が継続したことなどからテーマパーク入園者数が大幅に増加いたしました。加えて、ゲスト 1 人当たり売上高が増加したことなどから増収となりました。
- ・ また、売上高の増加に加え、減価償却費が減少したことなどから増益となりました。

続いて、数値は開示していませんが、期初業績予想と比較いたしますと、売上高・利益ともに大幅に上回って推移いたしました。

- ・ テーマパーク事業は、入園者数及びゲスト 1 人当たり売上高が予想を上回り増収となりました。第 2 四半期以降への費用の時期ずれ分約 10 億円を勘案しても増益となりました。
- ・ ホテル事業は、ほぼ予想通りとなりました。その他の事業は、シアトリカル事業が減益となったことなどにより、予想を若干下回りました。

最後に、当四半期決算を踏まえた第 2 四半期連結累計期間及び通期の業績予想についてですが、ご説明しました通り、当四半期は業績予想を大幅に上回って推移したものの、集客のボリュームゾーンである第 2 四半期以降のテーマパーク入園者数に対する天候リスクなどを踏まえ、現時点では第 2 四半期連結累計期間及び通期の業績予想を変更いたしません。

なお、今回から補足資料の 2 ページ目に、「2011 年 3 月期 テーマパーク 新規アトラクション・スペシャルイベントカレンダー」を記載しております。

以上